

# 厳選良問

～ 良い問題だがちょっと言いたい ～

分野	相談援助分野	出典	社会福祉士試験(第29回-問題108)
----	--------	----	---------------------

===== 問題 =====

**問題** 相談援助のための面接に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 閉ざされた質問は、クライアントが自分の考えや気持ちを表現できるように促すために用いる。
- 2 要約とは、クライアントの言葉をそのまま繰り返し対話を促すことである。
- 3 感情の反映とは、クライアントの感情や態度に関係なく、ワーカー自身の感情を伝えることである。
- 4 沈黙場面では、クライアントの混乱が沈黙の第一の理由と捉え、ワーカーが指示的に関わる。
- 5 非言語的な表現の観察においては、クライアントのアンビバレントな感情を理解する。

===== ポイント&解答 =====

## 資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★★	★★★	★★★	★★★

注) ★★★…必ず学習!!   ★★…できれば学習!   ★…余裕があれば確認   ×…学習しなくてOK

## 試験対策ポイント解説

面接技術(コミュニケーション技術)の内容を確認する問題で、面接技術の基礎問題として非常に良い内容になっています。

ただ、1点言わせてください。選択肢5の「アンビバレントな感情」って、一般的に認知されているのかなあ～と思います。ここは単純に「クライアントの感情」としても「○」になり得ます。仮に「複雑な感情」や「(行動等と)相反する感情」というような表現で出題されていれば、自信をもって選択肢5が正解だと言える受験生が、「アンビバレント」に悩まされて得点を落としたとしたら、ちょっと不公平なのかなと感じます。

どこまでのカタカナ用語までがOKなのかというのも明確にしておく必要があると、個人的には強く思います。

